

記入例

もうしこみしょ 申込書

だんたい 1. 団体について

だんたい なまえ (1) 団体の名前

よみがな	ちーむまつやま
だんたい なまえ 団体の名前	チームまつやま

だんたい (2) 団体のメンバー ※書ききれない場合は、別の紙に書いてください。

	ふりがな なまえ 名前	ねんれい 年齢	し ない 市内に		がっこうめい がくねん 学校名・学年
			ざいじゅう 在住	つうがく 通学	
1	まつやま 松山 つばき	13	○	○	松山中学校 1年
2	ほうじょう はじめ 北条 一	14	○	○	松山中学校 2年
3	なかじま ふたば 中島 二葉	13	○	○	松山中学校 1年
4	どうご さびろう 道後 三郎	13	○	○	松山中学校 2年
5					
6					
7					
8					
9					

※市内に在住（住んでいる）・通学のところは、当てはまるものに○をつけてください。

※学生の身分を証明するものを提出してください（小学生・中学生はいりません）。

(3) 責任者・監査人

【責任者】

なまえ 名前	山田 花子
ゆうびんばんごう じゅうしょ 郵便番号・住所	〒790-0003 松山市三番町六丁目4番地20
れんらくさき でんわ 連絡先（電話）	089-943-5790
メール	△△△@×××.jp
だんたい かんけい 団体・メンバーとの関係	松山中学校PTA役員

【監査人】

なまえ 名前	佐藤 太郎
ゆうびんばんごう じゅうしょ 郵便番号・住所	〒790-0003 松山市三番町六丁目4番地20
れんらくさき でんわ 連絡先（電話）	089-943-5791
メール	〇〇〇@××.jp
だんたい かんけい 団体・メンバーとの関係	愛護班役員

(4) 団体の代表者に○をつけてください。※18歳以上の方に限ります。

- 【 】 責任者が団体の代表者
- 【 】 監査人が団体の代表者
- 【 】 その他の人が団体の代表者 → ※ご記入ください。

なまえ 名前	
ゆうびんばんごう じゅうしょ 郵便番号・住所	
れんらくさき でんわ 連絡先（電話）	
メール	
だんたい かんけい 団体・メンバーとの関係	

※補助金交付団体に決定した場合、上記代表者が松山市NPO登録団体の代表になります。

(5) 学生リーダーについて

- 各区分の構成員が全体の過半数を占める場合→記載の必要はありません。
- 各区分の構成員が全体の過半数に満たない場合→学生リーダーの属する区分が、団体の補助額の上限となるため記入してください。

ふりがな		ねんれい 年齢
なまえ 名前		
ゆうびんばんごう じゅうしょ 郵便番号・住所		
れんらくさき でんわ 連絡先（電話）		
がっこうめい がくねん 学校名・学年		

2. 活動について

(1) 活動の名前

～広がれ防災の輪～
準備OK！私たちの非常持ち出し品

(2) 活動の目標 この活動をすることで、まちがどのように良くなると思いますか。

松山市の調べで、松山市民の半分以上は、非常時の非常持ち出し品の準備をしていない、とのことわかっています。

そこで、私たちは「まつやま防災マップ」を参考に、自分たちにとって必要な非常持ち出し品を準備・確認するとともに、実際に使ってみる「防災キャンプ」を行います。

また、その内容をまとめた「防災新聞」を作成し、情報発信をします。防災意識が広がると思います。

(3)活動の内容・スケジュール かつどう ないよう いつ・どのような活動をしていきたいと かつどう かんが 考えていますか。

<small>がつ</small> <small>にち</small> 月・日	<small>ないよう</small> 内容
8月1日	ミーティングで、非常持ち出し品リストを作る
8月下旬	非常持ち出し品を準備する
9月上旬	非常持ち出し品を使う防災キャンプ開始 非常食の試食や、道具を使ってみるなど その後のミーティングで、キャンプの感想をまとめる。
10月下旬	防災新聞作成、印刷、配布 防災新聞は、松山中学校で掲示するほか、近隣の皆さんにも配布します。

※事業の開始から終了までのスケジュールを書いてください。

(4)協力について きょうりょく かつどう きょうりょく ひと おし 活動に協力してくれる人たちがいたら教えてください。

〇〇愛護班の皆さん
防災キャンプの時に、アドバイスをもらいます。

〇〇地区自主防災組織
持ち出し品について、アドバイスをもらいます。

(5)自由記入コーナー

ここまでで書ききれなかったことや、特に伝えたいことがあれば書いてください。

防災意識を持つことは、大切だと思うので、今回の活動を終えた後も、クラスのみみんなと相談しながら継続してやっていきたい。

防災グッズは、メンバーの自宅から持ち寄ることで、支出を抑えたい。

私たちの防災新聞は多くの人に読んでもらいたいので、絵や写真をたくさん載せた楽しいものにしたい。

また、新聞やテレビでも取り上げてほしいので、キャンプやミーティングの日程が決まったら、マスコミの皆さんにもお知らせしたい。

3. 予算について

※責任者・監査人の指導を受けながら、書いてください。

(1) 収入

くぶん 区分	きんがく 金額	うちわけ 内訳（単価・人数など）
補助金	78,000	松山市からの補助金
ごうけい 合計	78,000	

(2) 支出

くぶん 区分	きんがく 金額	うちわけ 内訳（単価・人数など）
需用費	<u>53,000</u>	新聞作成用 筆記用具・写真印刷代 <u>5,000 円</u> 新聞印刷代 A3両面100部（フルカラー） <u>30,000 円</u> 防災キャンプ用グッズ購入代 （携帯ラジオ・電池・タオル・トイレセット・救急セット・非常食・備蓄用水など） <u>18,000 円</u>
役務費	<u>10,000</u>	切手代 200円×50枚= <u>10,000 円</u>
使用料 及び賃借料	<u>15,000</u>	会議室使用5回分 3,000円×5回= <u>15,000 円</u>
ごうけい 合計	<u>78,000</u>	

※補助対象経費に下線をいれてください。

※交通費は行き先、手段、単価等を書いてください。